



きよせ市議会だより

平成24年5月15日第193号
(2012年)

発行 清瀬市議会
清瀬市議会事務局
清瀬市中里5-842
電話 (042) 492-5111(代)
FAX (042) 495-1189
清瀬市ホームページ
<http://www.city.kiyose.lg.jp/>

清瀬市立下宿第三運動公園サッカー場オープニングセレモニー



(3月25日、オープニングセレモニーでのテープカット)

平成24年 第1回定例会

平成24年度一般会計予算 賛成多数で可決

平成24年清瀬市議会第1回定例会は、3月1日(木)から3月27日(火)までの27日間の会期で開きました。
今定例会では、平成24年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、下水道事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計予算等の市長提出議案36件、委員提出議案1件、議員提出議案(意見書等)10件、報告1

件、請願3件、陳情7件を審議しました。

なお、平成24年度清瀬市一般会計予算については、予算特別委員会を設置し、3月9日(金)・3月12日(月)・3月13日(火)の3日間で審査しました。

提出された議案等の審議結果については、11面・12面に掲載しています。

平成24年度予算のあらまし

清瀬市一般会計予算は、歳入では、地方交付税が増額したものの市税収入が90億円を下回っています。歳出では、社会保障費や国民健康保険などの特別会計への繰出金が増加しており、こうした経常経費の増加に対し財政調整基金からの繰入などで対応せざるを得ず、市財政は引き続き非常に厳しい状況にあります。

このような中、「安心して住めるまちを目指す取組み」

「人づくりを進める施策」「活気ある協働のまちの推進」などの保全・快適住環境都市への取組み」などに対応する予算を計上しています。

一般会計予算の規模は、前年度と比較すると率で6.0%減の250億4千500万円となっています。

「安心して住めるまちを目指す取組み」として、防災マップ兼ハザードマップの作成、防災備蓄食糧、避難所用備品

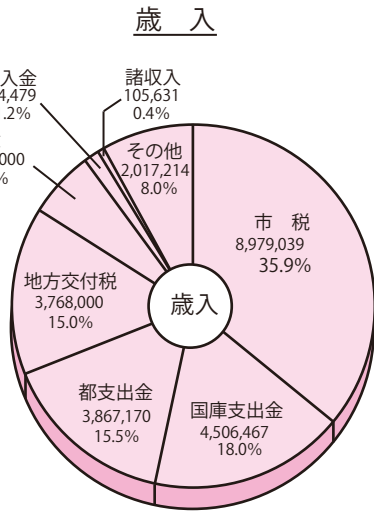
の充実、妊婦健康診査における超音波検査を全ての妊婦の方に助成、消費生活相談等の強化など。

「人づくりを進める施策」として、小中学校の読書活動を支援する学校図書館運営サポーターの充実、「命の教育」の推進を図るため、赤ちゃんのチカラプロジェクトを全小中学校で実施など。

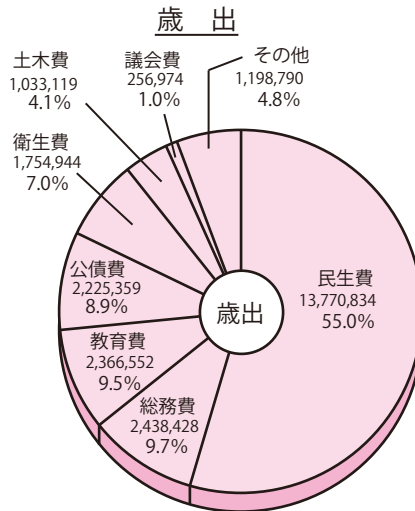
「活気ある協働のまちの推進」として、都市農業の活性

一般会計歳入歳出予算構成表

(単位：千円)



歳入総額 25,045,000 千円



歳出総額 25,045,000 千円

化を図るため、きよせ産農産物の普及推進のため「きよせ」の名入り出荷容器等購入助成、商工会が行う買い物弱者対策（宅配事業）への助成など。「みどりの保全・快適住環境都市への取組み」として、みどりを次世代に引き継ぐため萌芽更新を実施、国蝶「オムラサキ」のふ化及び放蝶事業、けやき通りの景観を維持するため、ケヤキ診断とその結果に基づいた剪定、伐採、補植の実施などの事業に予算を計上しています。

また、特別会計は、全体では前年度と比べて率で6.3%増の169億800万円となっています。

平成24年度 一般会計予算討論要旨

反対討論 日本共産党

市民生活は年々厳しさを増し、市税一人当たりの負担額をみても26市平均よりも低いことに示されています。

新年度予算は、就職相談窓口の常設や二中、清明小の雨漏り対策など市民要望が一部反映されましたが、暮らしや子どもを守る対策などは消極的な予算となっています。

国保税の値上げは、被保険者の約8割を占める所得200万円以下の世帯を直撃するもので到底認められません。

家屋の倒壊から命を守るために耐震化未実施の木造住宅の工事助成を再三求めてきましたが検討もされていません。

原発事故による放射性物質の影響から子どもを守る対策は、学校などの給食食材の測定を継続し、市場の検査漏れを逃さないうえでも重要視すべきです。親からの不安の声がある中で芝小、清小の給食の民間委託は撤回すべきです。

賛成討論 清瀬自民クラブ

「東日本大震災」が発生し、一年経過しました。一刻も早い「復旧・復興」を進めなければなりません。日本経済は景気低迷の影響により、3年連続物価が下落する等、市税収入も90億円を下回っています。このような中、予算の重点施策として、災害用備蓄資材や避難所用備品の充実、地域防災計画の見直し等を行うと共に、自然エネルギー施策として、太陽光発電機器設置に大幅助成を行い、農業経営パワーアップ事業によるパイプハウスの整備、買い物弱者への支援、農商工共同による「ひまわり市」の開催、国蝶であるオムラサキが生息できる緑の環境を再生させる萌芽更新等、新事業に配慮した予算組みを図り、「行財政改革計画」や「人材育成基本方針計画」を着実に実行し、公共施設の耐震化等、積極的に進める予算に賛成致します。

賛成討論 公明党

公明党を代表し、平成24年度一般会計予算の賛成討論を行います。依然として景気低迷の影響により、市財政は引き続き厳しい状況の中、重点施策として災害備蓄資材や避難所備品の充実、地域防災計画の見直し、太陽光発電機器設置補助の増額、買い物弱者への支援、校舎屋上防水などの事業は大いに賛成致します。

任意予防接種ワクチンの継続、ふるさとハローワークの開設も評価します。平成24年度は、国保税の改正、介護保険料、後期高齢者医療保険料の改定と市民の負担が増えます。今、政治に必要なのは、リーダーの不退転の覚悟と合意形成に向けた努力、そして市民に痛みを容れて貰う説得力です。市民の問い合わせには誠意を持った対応を、そして市政の課題には説明会を開催し説明・説得を行うことを求め、賛成討論と致します。

賛成討論 風・生活者ネット

税収が伸び悩む一方で、民生費は増え続け、経常経費の増加を、基金の取り崩しで対応せざるを得ない状況です。

今後、市庁舎など公共施設の建て替えや耐震補強の規模次第で、市財政は綱渡りを強いられます。

市民生活の側から見ると、収入が増えない中で国保税や介護保険料の値上げになります。

住民に説明し、問いかねに応え、理解してもらうための「納得してもらう行政」が必要です。

市の事業に対する第三者評価の実施、8年ぶりの補助金適正化検討委員会では、外部委員による公平公正な行政への提言を期待します。

第4次行革を確実に実行し、身の丈に合った行政を進め、安定した財政基盤を確立することを強く求めて賛成致します。